

刊後
返付して
下さい。

(1)

つどい

つどい

第 1 号

大 代 公 民 館

昭和45.11.15.発行

大田市民憲章

三瓶山をあおぎ 美しい海と豊かな
風土にめぐまれた大田市です。

わたしたちは、この郷土に生きるこ
とに喜びと誇りをもり、大田市がさら
に健やかに伸びゆくことを念願してこ
の憲章を定めます。

わたしたち市民はつねに憲章の精神
にそい日常生活にこれをあらわすよう
につとめます。

一 自然に親しみ健康で明るいまちを
つくりましょう。

一 工夫をこらして産業にはげぬ手を
たずさえて豊かなまちをつくりまし
よう。

一 きまわりを守り、よい風習をつちか
い住みよいまちをつくりましょう。

一 教養をたかめ、情操をふかめ、文
化のまちを育てましょう。

一 老人の福祉をすゝめ、子どもの希
望をのびすあたかいまちをきさずさ
ましましょう。

復刊おいさつ

館長 原田 秀興

大代町内で今頃どんな行争があるか、
どのような動き、活動をしているか、せ
めて、町内のことは知っておきたい知っ
ておきたい、現在のままで一部では知
られて、いても 全体へゆきとどいてい
ない事が多くあります。

これで良いだろうか、

生活の中に小さいネジが一本 ゆるんで
いる、ぬけている。小さいけど、このネ
ジは、非常に大切なものである。

社会教育、家庭教育、健康増進、等々に
ついて、町民間のパイアの役目を果し公
民館活動の一助ともなれかし、とねがっ
て、やっど館報を復刊することが出来、
「つどい」と名づけられました。その第
一号を、あなたのお手もとへ、お届けす
ることを、うれしく思っております。

この「つどい」が、号を重ねるにつ
れて、内容を充実してゆくことでしょう
が、若い二葉を出したばかりであります。
あなたの 温かい育成の水を待っております。

ふれあい

学校の行き帰りに「お早うございます」「かえりました」「道で会おう子らが明るくあいさつをして行く気持ちかよい、反射的にこちらも、あいさつを返えず、「かえりました」生徒があいさつをする。「……」おとなは、だまっている。かえりみもしない。こんなケースが、よく見られる。この人は家庭であいさつをしていないらしい。若い者や子供には要求するが自分はいないタイプの人と思われる。

「町まきれいに」運動がとなえられている。親が暗くなつてから、ごみやわねをのを、おいこで捨てていけない所へ捨てに行く、ひとは見ていないけど、家族が見ている、子供が見ている。家庭教育は子供の勉強する時間の中で一番長い科目である。そこには教科書はないが実習がある。生活そのものである。学校で教えない大切な科目を教えるのが家庭である。生活の中で親子のふれあい、話し合いによる、心のふれあいの生活の子らは見守っている。親を見習い、自分の人格として積み上げていく人間づくりをしてゆくののである。

両親の生活態度が、明るかつたら、明るい性格の人間が出来上がる。暗かつたら暗い性格の人間が出来上がる。親の生活こそ大切な子供の教科書なのである。わが子を責める前に、親自身が自分の生活を反省し、心の中で「ごめんね」とあやまる程のけんぎよさと、自責の念を、持つべきではなからう。

大代町の(過疎現象)

昭和四十年(五年前)の国勢調査による大代町の世帯数、人口と現在の状況を比較してみますと次のような移り変わりとなります。過疎の現象については各町深刻な問題であります。これについて只国や県の施策に依存するだけでなくお互真剣に打開策を考えてみましょう。

| | | 昭和四十年 | 昭和四十五年 |
|-----|---|-------|--------|
| 世帯数 | | 三九一 | 三六五 |
| 人 | 男 | 六九四 | 五六九 |
| | 女 | 七四四 | 六三九 |
| 計 | | 一四三八 | 一二〇八 |

注

右表の数字を五年前と比較してその人口、世帯数の減少は次のとおりとなります

世帯数 二六世帯
人口 二三〇人

大代町青年団誕生す

団長 斎藤正治
副団長 榎原里美
会計 井谷 忠、團員 渡井 広、坂本 一郎、渡 昌典、渡 利忠正、山崎心じえ、竹間初美、角ひろ子、曾根和子、山下善秋、向井佐和子、佐藤哲郎、笠岡美恵子

絶えて久しい青年の組織が 九月に結成されました。激動する今日の社会に対処して、より良い生き方、明るい将来を目標に向って進もうとする若人をみんなで見守り、協力して、活躍を期待いたします。

町内ニュース

大田市の誘致工場である株式会社浅利敬縫製工場大代分工場が皆様のご協力により本月十八日発足することなりました。

街や川を

きれいに

婦人会長 尾崎三枝子

「兎追いし彼の山、小鮎釣りし彼の川」故郷を離れて都会に働く者の頭に浮かぶ懐かしい山や川のある故郷を忍ぶ歌です。その故郷が今は川にはポリ製の物が浮んでいたり、危険な瓶、ガラスがあり、紙屑がいたる所にひっかかっているのを見ると昔きれいであった川が懐かしく、今の状態が腹立たしく思われます。私等の町は私等の手で守るより無いと思えます。婦人会が中心になって皆様の御協力を得て町や川をきれいにする事を手掛けて参りました。幸い今年度は大田市の新生活運動協議会の指定を受けこの事についてモデル地区になりました。これを機会に是非立派にしたいもの

のようものでございます。御協力頂きたい事は次の通りでございます。

- 一 焼ける物は焼いて下さい。
- 一 金物は小、中学校の廃品回収に出して下さい。
- 一 ガラス危険物は市の回収の日に出して下さい。
- 一 其他の物は埋めて下さい。
- 一 道路や川へ物を捨てないで下さい。
- 一 ごみの捨て場所については関係の者が集まって色々協議をしておりますが、よい案がありましたら御指導下さいませ。
- 一 都市は今公害で生命を危険に晒しています。美しいきれいな自然の中に生活出来る事が私等田舎に住む者の最大のよろこびだと思いません。一人一人が心して街や川をきれいに住みよい大代をつくらうではございませんか。御協力下さいますようお願い致します。

胃を守るう

ヨ イライラは大敵、心配

ことがあったり対人関係で気を使ったり、あせっていたりしては、胃の具合がよくありません。好きな物でも腹八分、むやみに沢山食べたり、飲んだりすれば胃をこわします。かたいものを急いで食べたときや、熱いもの、冷たい飲みものも胃を刺げざします。

十分間でも食後を休む。昔から「親が死んでお食休み」と云われていますが、経験が教えた、合理的な法則と云えましょう。

ぐっすり睡眠、疲労回復よく眠れた朝は食欲があり、全体的に好調ですが、睡眠不足の翌日は、胃が重くて食欲もなくなり、

一生涯毎日使う道具です。大切に守り、明るい健康な生活を保ちましょう。

中学校にピアノ新調

十一月十九、二十日は大代町文化祭、中学校会場では十日生徒婦人会等の作品展、生花展、バザーと共にピアノ開きをする事になった。

新たに購入するピアノはカワイ六五〇号ブランドピアノ。現金正価五万六千円、約半額を市が負担、残額地元負担ということで特志家の寄付を載せてやっと実を結んだ。

当日は十時からピアノ開き、午前中小中学生による音楽会、午後は一流の音楽家、ピアノリスト、バイオリンリストによる演奏会を予定、近頃の教育で合理性を追求し、それを生活にまで及ぼそうとする一面と共に、特に豊かな情操、温かい人間性、円満な人格の形成が叫ばれている折、大いに役立つことを期待したい。

大田市文化祭

出展俳句

特選 作品

猪おどす添水をかけて

秋田守る 暎 秋

秋の日に燃ゆるサルピヤ

恋もなく ふみえ

つながれて野に啼く牛や

渡り鳥 栄

猪荒らす峡田の稲を

拾い刈る 寿 枝

以上の外、他に沢山佳作がありましたが次号で掲載の予定にしています。

俳句の会は男女を問わず同好者の会でありますので、自由にご参加下さいますようお願いいたします。

社協から

社会福祉協議会大代支部

へ香典返しにかえ、次の方よりご寄付を頂きました。ここに掲載し厚く御礼申し上げます。

上市 渡 弘文殿

山田 谷口正見殿

八反田 今田喜久殿

椿 谷口タマノ殿

川上 渡井フミエ殿

植松 山内典夫殿

飯谷 下垣五枝殿

武田 勇殿

川上 笠井岩義殿

火災予防

大代分団長 松井 幸

晩秋と共に火災のシーズンを迎えました。全国的に十一月、十二月ともなつて来ると、きまつた様に統計の数字がふくれ上つて来る。一寸した油断が想像きつ

ない大きな災害を起してしまいます。

大代町は最近全く火災がありません。これは皆様と共に大きな喜びです。こういった気持ちのゆるんだ時思いがけない出火もあるものです。間もなく全国火災予防運動の行事が始まり色々な呼びかけがあると思えます。

要は町民の一人一人がもつとく火災の恐しさ惨酷さを知ることでしょう。

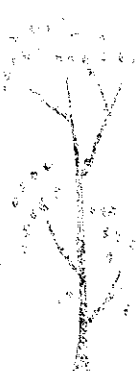
公民館だより

◎藤井 博主事が健康と家庭の都合で辞任され、後任に十月一日付で松井 幸主事が就任されました。

◎調理台 流し台が支給されておりますが、排水施設、調理台保管所が不備のため使えず、眠っています。

◎婦人会の協力で花垣が出

来どうです。窓ごしの庭に花が咲くのも近いことです。◎公民館は町民の茶の間です。極力御利用下さい。但し後始末をお願いします。



あとがき

長い間の懸案であった館報の復刊第一号をお手もとへ お送り出来ました。

内容も体裁も未熟ですが、しかし編集部はこれでも懸命に やつたつもりであります。お忙しいでしょうが一度は是非 読んで下さい。そして御意見を述べて下さい。それが「つどい」の成長する第一の要素であります。中央と全町民とのパイプの役目、町民相互のパイプの役目、これらを目的として出発しました。